

北川の人物

～孫たちに語り継ぎたい人々～



北川まちづくり協議会
北川の昔を訪ねる会

目 次 (生 年 代 順)

・ 発刊にあたり

・ まえがき

01	小田氏一族	中世末期から近世初期の北川を治めた一族	P 1~3
02	折敷山城主	北川地区唯一の城跡	P 4~5
03	檜村 監物	折敷山城の最後の領主	P 6
04	増龍 僧正	持宝院・中興の祖と云われている僧正	P 7~8
05	吉岡 孫市	甲怒村のため献身的につくした庄屋	P 9~10
06	木山 玄瑞	江戸後期から明治初期の医師・寺子屋で地元貢献	P 11
07	名越 白平	地方政治家・実業家・大地主・初代北川村長	P 12~13
08	山本 拳仲	小田・後月両郡の医師連盟、盟約書を発起した医師	P 14~15
09	石阪 惟寛	西南の役、日清戦争、台湾征伐で活躍した軍医	P 16~17
10	相田性太郎	一橋侯の委嘱により誠之館で学び、郷土のために貢献	P 18~19
11	大山石次郎	幕末動乱の時代に志願して大活躍した勇敢な若き農兵	P 20
12	名越 為吉	私塾・静修舎の創設者	P 21~22
13	妹尾 長圓	昭和四国八十八ヶ所霊場の中心的創設者	P 23~24
14	三浦益一郎	北川村の2~11代村長を務めた自治功労者	P 25~26
15	木山 清名	武宮・甲弩神社の神主として和歌を能くした文人	P 27~28
16	木山喜太次	池坊大日本華督として華道の普及に貢献	P 29~30
17	渡邊 元一	悲眼院を設立し、無報酬で診療した医者	P 31~32
18	高橋 慈本	明王院・持宝院住職・悲眼院専務理事、救療事業に尽す	P 33~35
19	名越 有全	真言宗布教に貢献した大僧正	P 36~37
20	長谷川 孟	最新式の医療器具を導入し、開腹手術に長けていた医師	P 38~39
21	茅原 基治	ロシア革命後難民の子供達を保護した人道的船長	P 40~41

22	木山 賢治	甲弩神社の再建や社会的にも多くの功績を残した	P 42～43
23	高橋 豊野	明王院の「土曜会」を主催して児童教化に貢献	P 44～45
24	名越 霞溪	隸書の大家、日本書道美術院審査員・書道の普及に貢献	P 46～47
25	佐藤 眞猛	来迎院神護寺の整備、文化財の保護・保存を図る	P 48～49
26	渡邊伊三郎	戦前、戦後にかけて国のエネルギー問題に取り組んだ科学者	P 50～51
27	大山 公淳	高野山第463世寺務 <small>じむ</small> 検校 <small>けんぎょう</small> 執法印 <small>しつこうほういん</small> を務めた大僧正	P 52～54
28	蔵本 恒之	教育界で貢献した後、北川村長として笠岡市合併に尽力	P 55～57
29	出原 忠夫	新聞記者として活躍、農業青年教育・経営技術の世話人	P 58～59
30	藤谷 時雄	小学校長・教育長・公民館長等、地域の発展に貢献	P 60～61
31	山本 靖造	「必治の信念」をもって診療にあたった医師	P 62
32	木山 益二	井原市教育長として学校教育に貢献	P 63～64
33	井上 雄風	吉備の名碑・石仏拓本など、文化活動を展開した教育者	P 65～66
34	植木 董	北川小・小北中の校医を長年勤め医療活動に尽力した医者	P 67
35	坂本 勉	最先端技術をいち早く導入した採卵養鶏の先駆者	P 68～69
36	都城 秋穂	プレートテクニクス理論の世界的権威の地質学者	P 70～71
37	守本 壮平	多くの神社に奉職、教職生活の傍ら地元宮司として活躍	P 72～73
38	名越二荒之助	アジアを歴訪し、友好啓蒙活動に従事した保守派の論客	P 74～75
39	大山 友久	地方自治の発展と住民福祉の向上に永年貢献	P 76～77
40	池田 一	宮崎大学長、植物発生形態学を確立した農学博士	P 78～79
41	大山 仁快	国をはじめ岡山県下の文化財保護に努めた学者和尚	P 80～81
	・ 資料編 (本文順)		P 82～94
	・ 索引 (あいうえお順)		P 95
	・ 編集後記		